

## 説明文の指導内容（説明文の構成の種類）

◎説得力をもたせるための文章の構成を学ぶ。  
Ⅱ「むすび」をいかに強めるか

①「事例」を数多くする

『こまを楽しむ』（三上）

②「事例」をいろいろなところからもってくる

『すがたをかえる大豆』（三下）

③①②の事例を順序よく並べる

【例】

- ・ 時間的順序
- ・ わかりやすいものから
- ・ 一般↓特殊

『こまを楽しむ』（三上）  
『すがたをかえる大豆』（三下）等

④「中」を対比的にする

『アップとルーズで伝える』（四上）

⑤「主張の根拠」や「理由」を多く挙げる

『世界にはこる和紙』（四下）

それらを「まとめ」でまとめる

⑥「まとめ」を対比させる

『言葉の意味がわかること』（五）

### 【応用】

⑦問いと答えの連鎖

（一つの説明から次の問いが生まれる）

『アリの行列』（三下）  
『ウナギのなぞを追って』（四下）等

⑧「中」の厚み・詳しくさを変える

（わかりきっていることは薄く、分かっていないこと・知らせたいことを厚く）

『時計の時間と心の時間』（六）

⑨双括型（「はじめ」と「むすび」に主張がある）

『世界にはこる和紙』（四下）  
『言葉の意味がわかること』（五）等

## ⑩資料の説明

『鳥獣戯画を読む』（六）